

CSR経営を一層進展させ、 “選ばれる京阪”を目指します。



代表取締役社長
上田 成之助

「経営の品格」を キーワードにCSRを推進

当社は、平成18年に創立100周年を迎え、平成22年に開業100周年を迎えますが、これを機にさらなる飛躍を目指して京阪グループ経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」を策定しました。この経営ビジョンは、多くのお客さまに支持され「選ばれる価値のある会社」へと成長していく決意を表したものです。

“選ばれる京阪”を実現するために、私たちは中期経営計画「成長のための収益力強化3か年計画 Jump21」に取り組んでいます。平成20年度は「Jump21」の最終年度となりますが、そこでは「経営の品格を向上させ、早期に成長ステージに立つ」ことを目標としています。

『国家の品格』『女性の品格』などの書籍がベストセラーとなり、近年「品格」という言葉が時代のキーワードになっ

ていますが、当社は、それがブームになる以前から「経営の品格の向上」を、成長のためのスローガンにしてきました。私は、その「経営の品格」こそ、CSRの基本だと考えています。

「経営の品格」を考える上で大切な視点は、何といってもお客さまに喜ばれる形で利益を上げていくことにほかなりません。そのためには、コンプライアンスを遵守することはもちろん、「安全・安心の確保」や「自然環境にやさしい企業運営」にもきちんと対応できる会社でなければなりません。それはまさに、私たちがいま取り組んでいるCSR経営そのものであり、経営ビジョンの“選ばれる京阪”を実現するために欠かせないものだと考えています。